

## 遙か千百年の刻を超えて～紡がれる桜への思い～

樹齢1,100年余り、国指定天然記念物「臥龍桜」は、毎年4月中旬から下旬にかけて見頃を迎えます。

作家司馬遼太郎氏は30年前、当地を訪れ「この威容の前には人間などとても威張れたものではない」と記しました。

人々の心を癒して止まない臥龍桜は、過去幾度となく枯死寸前の状態に追い込まれましたが、その都度、桜を思う人々の力が結集して蘇り、毎年変わらぬ桜花を身にまといます。

高山市は今年、市制施行80年を迎えます。臥龍桜の歴史と比べたら私たちの存在は威張れたものではありませんが、臥龍桜と同様、高山市を思う人々のまちづくりへの熱い思いが結集してこそ、これから先もまちは輝き続けるのではないのでしょうか。

高山市長 國島 芳明



【市制施行80周年記念冠事業】臥龍桜・桜まつり 4月14日～5月5日予定 臥龍公園(一之宮町)  
期間中、公園内には飲食店・特産品販売コーナーや観光案内所が、また周辺には無料駐車場が設けられます。なお、臥龍桜は老木のためライトアップはしませんが、園内では午後8時ころまで10基程のぼんぼりが灯されます。マナーを守ってご来園ください。開花状況は飛騨一之宮観光協会ホームページでご覧いただけます。  
撮影：平成27年4月22日